

令和 7 年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 重信川サイクリングロード魅力体験事業費
 (2) 事業期間 令和 5 年度～令和 7 年度
 (3) 所 管 地域産業振興部 地域政策課
 (4) 予算額 1,900 千円

2 事業目的

子育て世代をはじめとした地域住民に対し、誰でも気軽に楽しめる重信川サイクリングロードの楽しみ方を発信するとともに、実際に体験してもらう体験コンテンツを提供することで、身近な「余暇の定番スポット」として定着を図り、周辺地域の活性化に繋げる。

3 主な取組（何をしたか）

- (1) 重信川サイクリングロード活性化推進実行委員会の運営
 ・ 構成員 中予地方局長（会長）、関係 4 市町担当部長等
 ・ 事業費 3,600 千円（負担割合 県：市町＝1：1）
 (2) 重信川サイクリングロード魅力体験事業（実行委員会実施事業）

① シェアサイクルの導入

重信川サイクリングロードの利便性向上を図るため、駐車場のある公園にシェアサイクルのステーションを設置した。

○設置日 令和 7 年 8 月 26 日

○設置場所 赤坂泉公園、重信川かすみの森公園

② デジタルスタンプラリー及び家族サイクリングイベントの実施

ア デジタルスタンプラリーの実施

ロード沿線及び周辺施設・飲食店等に設置したスポット 25 か所を巡るデジタルスタンプラリーを実施した。

○実施期間 令和 7 年 10 月 18 日～12 月 14 日

○スポット数 25 箇所 ○参加者数 322 名

イ 家族サイクリングイベントの実施

ロードの更なる利用促進及び周辺地域の活性化につなげるため、家族向けサイクリングイベントを実施した。

○開催日程 令和 7 年 10 月 19 日 ○参加者数 43 名

③ インフルエンサーを活用したシェアサイクルの情報発信

シェアサイクルを活用したロードの楽しみ方をインフルエンサーの Instagram で発信した。

④ 重信川サイクリングロード利用者数の実態調査

利用者数やその属性を把握し、データに基づく企画立案を行うため、人流データを活用した実態調査を実施した。

○調査期間 令和 6 年 10 月 18 日～令和 7 年 10 月 17 日

○利用ツール KDDI Location Analyzer



↑設置したシェアサイクル



↑スタンプラリーポスター



↑家族サイクリングイベント

4 成果（何がどう変わったか）

デジタルスタンプラリーの参加者数は 322 名であり、昨年度の 304 名から増加した。

また、家族サイクリングイベントでは、約 8 割の参加者から高評価を得たほか、半数以上が初めてロードを利用するなど、ロードの魅力を体験する機会を創出し、利用者の裾野拡大につながったと考える。